

令和5年度(2023年度)実績報告

図書館年報



令和6年5月

大台町立図書館

目次

はじめに

1. 図書館の基本的なサービス・・・・・・・・・・・・・1

資料の公開・貸出・・・・・・・・・・・・・1

窓 口・・・・・・・・・・・・・5

館内サービス・・・・・・・・・・・・・7

Web サービス・・・・・・・・・・・・・8

2. 事業・活動報告・・・・・・・・・・・・・9

来館者事業・・・・・・・・・・・・・9

非来館者事業・・・・・・・・・・・・・24

移動図書館・・・・・・・・・・・・・25

他機関連携事業・・・・・・・・・・・・・29

広報活動・・・・・・・・・・・・・30

施設支援事業・・・・・・・・・・・・・32

その他・・・・・・・・・・・・・33

3. 状況報告	35
資料所蔵状況	35
利用者状況	36
年齢別地区別個人の実利用者数	38
貸出状況	39
公民館図書室利用状況	41
4. 経費・サービス指数	42
令和5年度予算	42
サービス指数	42
5. 課題と対策	43
前年度に挙げた課題と対策	43
令和6年度に向けての課題	45
対 策	46

はじめに

図書館は自ら学ぶという姿勢を支え、生活の質を向上させることができる場所です。しかしながら、上手に図書館を活用するためには、図書館が提供しているサービスを把握している必要があります。この年報では、図書館サービスをより多くの方に知ってもらうために、基本的なサービスをまとめています。

1. 図書館の基本的なサービス

【資料の公開・貸出】

図書館は自ら作成した収集方針に従って資料選択および収集を行う機関です。その収集する媒体は、紙、音声、映像、電子書籍など様々です。どんな資料を集めるか、自由に手に取って見ることができるか（開架式）、館外への持ち出しができるか（貸出可）は、それぞれの運営する館によりルールは違います。当館では、今は主に紙媒体での資料収集を行い、開架、貸出可（一部禁帯出あり）というルールで運営しています。また選書は、リクエストやレファレンスを参考に町民のニーズに対応するとともに、今後必要とされる可能性が高い内容の資料も司書が検討し収集しています。

◆収集資料の種類

新聞 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、夕刊三重

雑誌 暮らしの手帖、すてきにハンドメイド、趣味の園芸、きょうの料理、きょうの健康、オレンジページ、Simple、歴史人、日経 PC21、AERA、週刊ベースボール、週刊新潮、SCREEN、子供の科学、婦人画報、Newton、non-no、クーヨン、NAGI、おくまの

図書 単行本、絵本、大型絵本、大活字本、ムック本、文庫本、紙芝居、郷土資料の小冊子・パンフレット・リーフレット

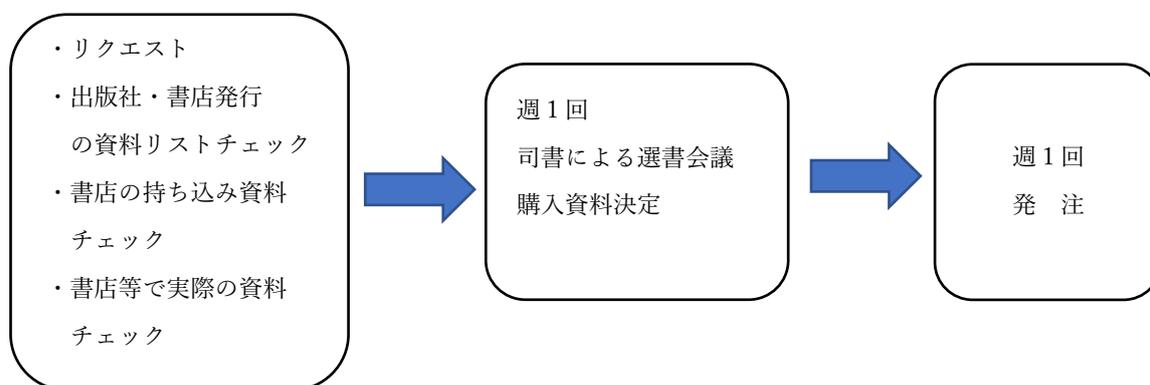
◆選書から排架まで（図書）

資料選びから棚に並ぶまでには、一定の時間がかかります。資料到着後も、司書による資料チェックを行います。新刊として発売されて間もない資料は、書店等での現物確認をする機会はほとんどなく、カタログやインターネットなどで確認できる情報にたよって選書しています。実際に目にするのは、選んだ資料が届いたときということがほとんどです。そのため選んだ資料が、どのようなレファレンスに対応できるか、この図書館では、司書が簡単に把握するための時間（1週間）を設けています。検索データだけでは対応しきれないレファレンス時に、このような日々の資料の目視が欠かせません。発行後かなりの時間が経過した資料については、必要であれば他の図書館から資料を借り受け、目視で内容を確認した上で購入決定する場合があります。

① 選書（第一段階 情報収集）

② 選書（第二段階 絞り込み）

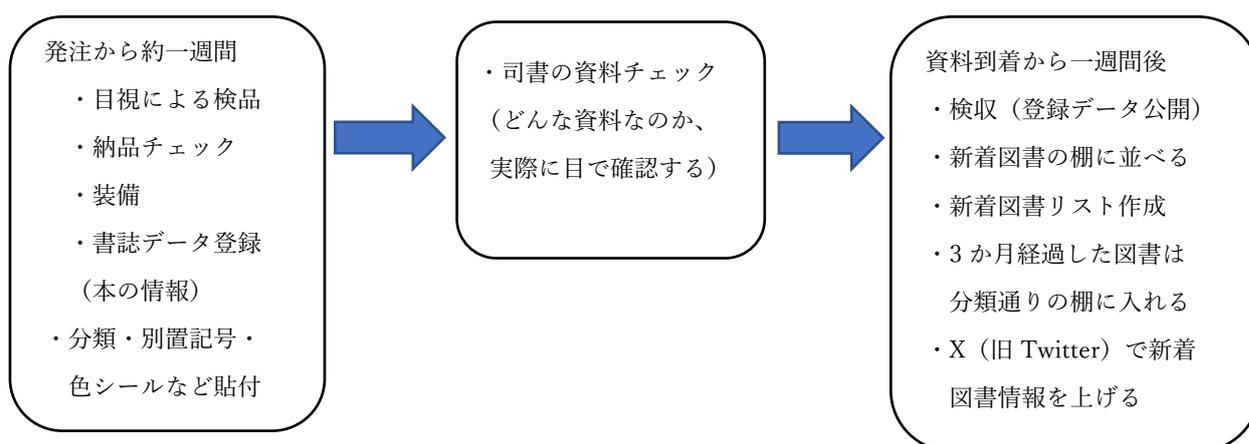
③ 発注



④ 資料が届く・データ登録

⑤ 資料チェック

⑥ 書架に並べる



雑誌は、受入処理が済み次第、速やかに棚に並べています。新聞は、受入処理はありません。最新号や最新刊の貸出や複写はできません。

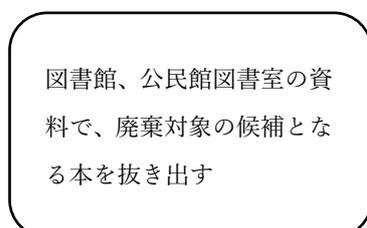
◆寄贈

「家を整理していて、もったいないので本を図書館に寄贈したいのですが」という問い合わせがよくあります。残念ながら、図書館の規模はすでに収納できる容量をはるかに超えており、毎年図書館で購入した資料を廃棄しつづけなくてはならない状態です。そのため、現在では、基本的には寄贈の受付はお断りしています。なお、未所蔵の郷土資料（大台町、周辺地域に関係のある資料）で、長期の保存に耐えうる資料であれば受入を行うこともあります。また、出版社や個人から新しい本の寄贈を受けることがあります。こちらについても、選書会議で司書が必要と判断した資料のみ受入します。

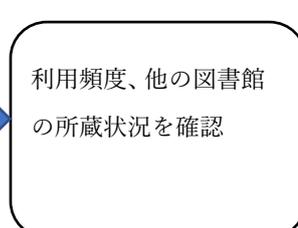
◆資料の抜き出しから廃棄まで

資料を収集し続ければ、どんな図書館でもいずれは書架が一杯になります。書庫がある場合は、ある一定時間が経過した資料はそこに収められます。しかしながら、この図書館には書庫はなく、他の図書館のように資料の保管機能を持つことはできません。そこで資料を廃棄するための基準を設けています。ただし、現在では廃棄対象年数を迎えても、資料的価値が高く利用が見込まれると判断したものは、図書館もしくは公民館図書室等に置いています。

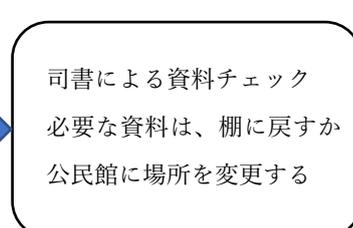
① 廃棄対象本抜き出し



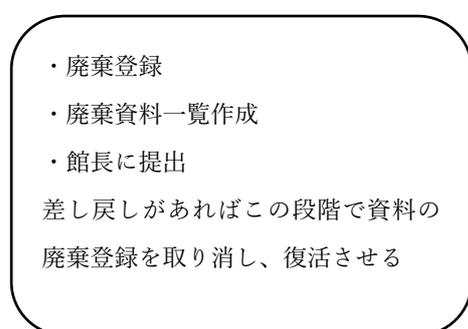
② データ確認



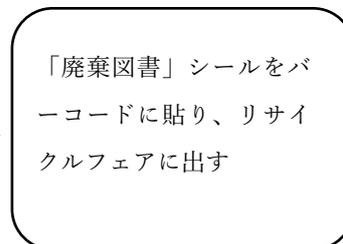
③ 司書チェック



④ 廃棄決定



⑤ リサイクルフェアで廃棄資料公開



●廃棄対象（図書資料）●

- ・受入よりおおむね8年以上経過したもの
- ・汚れ・破損が著しいもの
- ・時代的役割を終えたもの
- ・新しく版が出版されたもの
- ・百科事典で10年以上経過したもの
- ・法・税の説明で5年以前のもの
- ・スポーツ等でルールが変わったもの
- ・類似本が出版されて、資料的価値がなくなったもの
- ・館長が不要と認めたもの

雑誌は2年、新聞は3か月を保管期間としています。現在は、保管期間終了後、利用頻度の高い雑誌のみ2年間公民館で利用できるようにしています。

◆レファレンス

資料についての相談を受付けています。

- ・大台町立図書館の所蔵、場所確認
- ・他の図書館所蔵確認
- ・調べもの相談（知りたい事柄を何で調べたらよいかの相談）

レファレンスと一言でいってもその難易度は様々です。所蔵確認というすぐに回答できるものから、知りたい内容を詳しく聞く必要があるもの、調査に時間がかかるものなどもあります。回答方法は、資料の提供のみにとどまらず、インターネットも活用し、集めうる情報を収集します。

◆資料の複写受付

著作権法で認められている範囲内で図書館資料の複写ができます。

受付は窓口で行い、1枚10円で職員が複写を行います。

◆館内設備利用受付

個別学習コーナー、多目的ルーム、検索用パソコンの利用申請を受付しています。

【館内サービス】

◆検索用パソコン

1階には、インターネットが使えるパソコンが1台あります。検索の補助として、誰でも利用できますが、個人の文書やデータ作成、メール送信等には利用できません。

◆館内蔵書検索機（OPAC）

館内にある蔵書を検索することができます。2022年3月からは、検索した資料のデータをレシートで印刷することができるようになりました。さらにログインボタンを追加し、利用者個人のページをこの検索機から見るできるようになりました。

◆貸出資料のシール印刷

館内蔵書検索機でログインすると貸出中の資料を1冊ずつシールにすることができます。読書手帳等に添付し、個人の貸出記録や読書記録をつけることができます。

◆個別学習コーナー

個人で使う学習専用スペースです。席の指定番号があり、使用前に窓口で利用申請をしてから誰でも使うことができます。
今年度で全席のデスクライト設置が完了しました。



個別学習コーナーの様子

◆多目的ルーム

行事が開催される部屋です。行事がない場合は、次の用途で事前に利用申請すると使うことができます。

学習グループ利用 1～数人の少人数での利用

貸切利用 利用条件を満たした団体（自主グループ、非営利団体など）の講座や講習会、5名以上で利用の学習会や会議

ギャラリー使用 貸切にせず、壁面での展示

ランチタイム 12:00～13:00のみ食事可

◆Wi-Fi

館内でWi-Fiが利用でき、持ち込みのインターネット通信機器が使えます。

【Web サービス】

大台町立図書館には、インターネット上で図書館情報を確認できるホームページがあります。また、X（旧 Twitter 以下 X）でも図書館の日々の情報を発信しています。

◆ホームページ

開館日、行事予定、図書館からのお知らせなどが確認できます。
また、ダウンロード用の読書手帳のデータもあります。

◆蔵書検索（OPAC）

図書館に所蔵している資料の検索を行うことができます。

◆ログイン後にできること

- ・利用状況参照
返却予定日などが確認できます。期限延長も1回に限り行うことができます。
- ・予約
本を10冊まで予約することができます。
- ・新着案内配信サービス
ご自身の興味、関心があるテーマを登録すると、登録されたテーマに関する新着資料があった場合、新着情報がメールで配信される設定にすることができます。
- ・ユーザ設定
パスワードの変更やメールアドレスの登録を行うことができます。メールアドレスを登録すると、予約した資料の確認や取り置きのお知らせ、新着案内サービスのお知らせがメールで受け取れます。

◆X

天候などによる急な臨時休館のお知らせや、個別学習コーナーや多目的ルームの利用状況など、いち早く伝達が必要な情報を発信しています。他にも、おすすめ本の紹介や図書館の日々の出来事も紹介しています。

大台町立図書館ホームページ
<http://www.ma.mctv.ne.jp/~odai-to/>



大台町立図書館 X
@odai_to810



2. 事業・活動報告

【来館者事業】

本を貸し出すことだけが図書館の役割ではありません。自主的学習や体験のできる場所でもあります。読書をする楽しさを知ってもらえるような企画に取り組んでいます。

◆読書手帳

読書手帳とは、本の記録をつけるための手帳です。読んだ感想を残すことで、読書習慣に繋がりがやすく、読書したという達成感を感じることができます。

また図書館では個人情報の保護という観点から、返却した本の記録は残さない仕組みとなっています。読書手帳を使うことで、自身で借りた本の記録として残すことができます。

2022年2月に図書館のシステムを更新しました。これを機に、館内に設置されている館内蔵書検索機（OPAC）から、利用者がログインを行うと貸出中の本の題名等をシールとして印刷できる機能を追加しました。このサービスの周知と普及を兼ねて、オリジナル読書手帳を求めに応じて配布しています。シールを貼る以外にも、直接手書きで記録ができる仕様になっており、ホームページからデータをダウンロードするとご家庭でも作ることができます。



窓口横の棚にあります。

◆定期行事

毎月定期的に開催している行事です。

●ばぶばぶおはなしかい

2022年度9月から開始したおはなし会です。毎月第4水曜日から開催週を変更し、毎月第3水曜日10:40～11:00の時間に、乳幼児（9ヶ月～2歳児）とその保護者を対象として開催しました。

開催週を変更したものの参加者が少なく、参加者0の月が何度もありました。そのため次年度からの開催曜日については再検討事項となりました。図書館に寄せられた意見から考えられる要因としては、平日は子育て支援センターの利用が多いこと、育休中は参加できたが仕事復帰によって参加できなくなったことなどが考えられます。

開催日	0歳	1歳	2歳	他	保護者	歌遊び	本
4/19	0	0	0	0	0		
5/17	0	0	0	0	0		
6/21	0	0	0	0	0		
7/19	0	0	0	0	0		
8/16	0	0	0	0	0		
9/20	1	0	0	0	1	にんどころ こりゃどこのじぞうさん	もいもい じゃあじゃあびりびり なーらんだ
10/18	0	0	0	0	0		
11/15	0	0	0	0	0		
12/20	0	1	0	0	1	にんどころ こりゃどこのじぞうさん	もいもい いないいないばあ こんにちはどうぶつたち はらべこあおむし
1/17	0	0	0	0	0		
2/21	1	0	0	0	1	おはなし かれっこやいて	ころころころ ぶーぶーぶー だるまさんが
3/20	祝日のため休館						
合計(人)	2	1	0	0	3		



おはなしを聞く様子

●びよびよおはなし会

毎月第3木曜日に司書が行う読み聞かせの会です。毎月テーマを決め、読み聞かせや遊びを行います。未就学児を主な対象としていますが、未就園児や小学生も参加しています。

今年度は、読み手を1名にし、遊びの時間には1名補助で手伝うという形で行いました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した直後は、参加者が少なく、毎月来てくれるのは小学生1名という状況が続きました。そこで、10月にはハロウィンパーティーとしてALTの先生にも読み手になってもらい、参加型の遊びやプレゼントを用意したところ、多くの参加者がありました。以降、再び参加人数が回復しました。



10月 ハロウィンの様子



2月 おはなしを聞く様子

開催日	テーマ	読んだ本・紙芝居	遊び	参加人数		
				子ども	保護者	計(人)
4月20日	のりもの	『のせてのせて』他2冊	折り紙(ロケット)	4	3	7
5月18日	生き物	『おめんです2』他4冊	折り紙(ねこ)	1	1	2
6月15日	雨	『てるてるぼうずとふりふりぼうず』他2冊	折り紙(びよんびよんカエル)	1	1	2
7月20日	夏	『うみにいったライオン』他2冊	折り紙(ひまわり)	1	1	2
8月18日	おばけ	『いたずらおばけ』他2冊	折り紙と切り紙(妖怪)	1	1	2
9月21日	おじいちゃん おばあちゃん	『おじいちゃんのくしゃみ』他2冊	折り紙(柿)	2	1	3
10月19日	ハロウィン	『ハロウィン!ハロウィン!』 『SkeLeToN hiccups』	目玉運びスプーン リレー・ビンゴ	21	10	31
11月16日	秋	『もぐもぐがじがじ』他3冊	折り紙(ふくろう)	10	4	14
12月21日	クリスマス	『メリークリスマスおさるのジョージ』 他2冊	歌唱(あわてんぼうのサンタクロース) ・ダーツプレゼント	8	5	13
1月18日	冬	『あぶくたった』他3冊	折り紙(お福)	6	3	9
2月15日	食べ物	『はんぶんこ』他4冊	折り紙(いちご)	10	4	14
3月21日	春	『もちもちともだち』他2冊	折り紙(さくら)	5	1	6
計 12回				70	35	105

●ぷらっと

気軽に集うことができる場や、新たな図書館での過ごし方を提供するため、普段から図書館を利用しない方でも「ぷらっと」気軽に立ち寄れる場所を作るために開始しました。毎月第2木曜日の14:00～15:30に様々な行事を行っています。

2023年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、人数制限は緩和しましたが、参加人数把握のため事前申込制を継続しています。

今年度は、外部講師を呼び開催した月が多く、参加者の方にも楽しんでもらえました。



8月の様子



1月の様子



3月の様子

開催日	テーマ	サブテーマ	内容	参加人数(人)
4月13日	図書館	図書館を使いこなそう！	分類の説明、プチ館内ツアー、高齢者向け紙芝居の朗読	3
5月11日	健康	ストレッチをしよう！	役場健康ほけん課 理学療法士・上山哲明さんによるストレッチ	9
6月8日	クラフト	牛乳パックでメモ帳カバーを作ろう！	牛乳パックでメモ帳カバーを作成	6
7月13日		脳を若く保つヒント	大台町地域包括支援センター 保健師・栗谷利枝さんによる認知症についての講話	10
8月10日		大人の朗読会	職員による本の朗読	7
9月14日		百人一首を楽しもう	小倉百人一首で坊主めぐりとかるた取りを楽しむ	8
10月12日		本を読まない読書会	皇学館大学常勤講師・箕浦龍一先生による事前に本を読まない読書会「Read for Action」を行う	6
11月9日		革細工をやってみよう	野呂茂生さんに端革でネームタグの作成を教わる	10
12月14日		ちぎり絵をしよう！	ちぎり絵で年賀状作成	10
1月11日		地震のときどうする？	奥伊勢消防署の方々による地震についての講話、起震車の体験	6
2月8日		知ろう！お口の健康	三重県歯科衛生士会より歯科衛生士・山本珠希さんに口腔ケアについて教わる	8
3月14日		大台町の歴史を歩く	北島神社および北島館跡まで歩き、大台町ふるさと案内人の会・筒井敏さんの解説を聞く	8
計 12回				91

※7月よりサブテーマをテーマとしました

●おはなしプーさん 読み聞かせ会（この部分は代表小野清美様にお願いしました）

毎月第2土曜日 10:30～11:00 の30分間、ボランティアグループおはなしプーさんが読み聞かせ会を開催しています（定例会と呼んでいます）。

3人の当番が季節や行事のお話を中心に、その日訪れた子どもの年齢等を考慮して本を選び読みます。

7月・12月のイベント月には1時間に時間を拡大し、紙芝居や大型絵本、手遊び等も取り入れます。プーさんから手作りのプログラムや心ばかりのプレゼントもあります。

5月より、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、注意は必要ながらやっと従来通りの活動が出来るようになりました。これにより、定例会の参加者が戻ってきてくれるのは・・・、と期待しましたが、それは甘い考えでした。

TV やゲーム、YouTube 等、子どもの生活の中に手軽に楽しめる物が浸透しているからでしょうか。それに、学校がお休みでも、習い事やスポーツ少年団等、忙しそうです。そもそも、大台町も子どもの数が減少しています。きっと色々な要因が作用しあっているでしょう。

ただ、確信を持って言える事は、昔も今も、子どもたちは本を読んでもらうことが大好きです。私たちは今後も、絵本の力を信じて、想像する楽しさや知る喜びを、子どもたちに届けていきたいです。



イベント月の様子

◆その他の行事

毎年取り組んでいる行事とその年度のみ開催する行事があります。

●おはなしと工作 ～かみひこうきとばせ！～

おはなしと工作は、読み聞かせをするだけでなく手を動かすことで、本を知る楽しさ、自分で作る喜び、身近な科学的現象などに興味を持ってもらう機会としています。

図書館にある紙飛行機の折り方の本を見ながら、いろいろな形や飛び方をする紙飛行機を折りました。読み物だけでなく、図書館には調べて作ることができる本もあることを知ってもらう機会とし、こどもの読書週間にちなんで行いました。参加者が1名と最小人数となってしまいましたが、しっかり飛ばすことができる飛行機を折ることができ、たくさん折った飛行機を大事そうにもって帰りました。

告知の時期が3月と新1年生には情報が伝わらない時期だったので、開催時期はもう少し後にすべきだったと思いました。

開催日時 2023年4月23日(日) 14:00～15:30

対 象 小学生

参加人数 2名(小学生1名 保護者1名)

内 容 紙飛行機を作り、そのあと実際に飛ばして遊ぶ

参考図書 『びっくり超とび!最新おり紙ヒコーキ』戸田拓夫//著 いかだ社

『孫と楽しむおり紙ヒコーキ』戸田拓夫//著 いかだ社



作成中の様子



的あて遊びの様子

●リク★マツ

リク★マツとは、図書館の利用が少ないYA（ヤングアダルト）世代の図書館利用促進を目指して、この世代からのリクエストを募集する企画です。リクエストのあった本を選書会議で検討し、選書基準から外れないかぎり積極的に購入しています。この企画により、より親しみやすいYA コーナーづくりとその周知を行っています。

※YA（ヤングアダルト）とは、10代の若者を指しています。

6回目の開催となる今年度は、一般書の応募はありませんでした。また応募総数は9件でしたが、すでに所蔵している図書を希望するものや、所蔵しているシリーズの続刊を希望するものが多く、購入自体も少ない結果となりました。応募者も例年よりも低年齢化しているように見受けられます。元々入れ替わりの激しいYA コーナーですが、今年度は過渡期であるように感じられました。

募集期間 2023年6月16日（金）～7月31日（月）

応募方法 リク★マツ専用リクエスト用紙に記入し、応募箱に入れる

告知方法 図書館だよりYA版に掲載、ポスターを図書館と大台町内小中学校及び
昴学園高等学校へ配布

応募総数 9件

結 果 4タイトル16冊

『告白したのは、君だから。』神戸遥真//著 スターツ出版

『超イケメンなふたごくんは、幼なじみを独占したい』

このはなさくら//著 柚原瑞香//絵 スターツ出版

『四年霊組こわいもの係』床丸迷人//作 浜弓場双//絵 角川書店

『五年霊組こわいもの係』1～13巻 床丸迷人//作 浜弓場双//絵 KADOKAWA



選ばれた本の一部

●司書体験

図書館の仕事に興味を持ってもらい、図書館に対する理解を深めてもらうことを目的とした行事です。小学生を対象にした「子ども司書体験」と中高生を対象にした「司書体験」があります。

2023年度で3回目となる行事で、過去2年と異なる点として、本のコーティング体験は希望者はなく、代わりに本の修理体験を行いました。また行事終了後に、行事の様子の写真を図書館入り口のコルクボードに掲載しました。

中高生を対象にした「司書体験」は、応募者がおらず実施しませんでした。

子ども司書体験

開催日時 2023年8月18日（金）9：45～15：00

2023年8月19日（土）9：45～15：00

応募人数 各若干名

対 象 大台町・大紀町在住の小学4～6年生

参加人数 18日3名 19日2名

参加賞 修了証と雑誌の付録

内 容 図書館業務

（貸出・返却業務、返却図書の配架、本の紹介POPづくり、
レファレンス体験、本のコーティング体験、本の修理体験、返却本の消毒）

※レファレンスとは、利用者の調べもの相談です。

本探しや知りたい情報を手に入れる手伝いをします。



本の修理体験の様子



返却された本を棚に戻す様子

司書体験

開催日時 2023年11月18日（土）9：45～15：00

応募人数 各若干名

対 象 大台町・大紀町在住の中学1年生～高校3年生

参加人数 0名（今年度は応募なし）

●トークイベント 「大台町のイマヒト！」

1人1人の多様な働き方が求められている今、起業に興味のある方や、これからどんな職業に就きたいか悩む若者のヒントになることを目指し、町内で活躍している方を「イマヒト」として招待し、トークイベントを開催しました。

講師の方に事業を始めた動機や実際に感じた苦労、新しい発見などを講話いただき、意見交換をすることで参加者同士の交流の場としています。また、今後社会へ出る中高生が「大台町にはこんなお店があるのか!」「大台町でもこんなことができるのか!」と知るきっかけにもなりますので、今後も継続したいと考えています。

当日の参加者は20代から80代までと幅広い年齢層となりました。講話では障がいのある娘と自分の居場所を作ってくれた多くの人との出会いから、“みんながいられる場所を作っていこう”と「bread and coffee カナエタ」と「放課後等デイサービス きいろカナエタ」が誕生したことや、赤ちゃんからおじいちゃんまで参加できるパン作りや紙人形作りをしたときの様子等、スライドを見ながらお話いただきました。イベントの後には参加者が個別に相談をしており、“事業者との交流を生み出す場”としてもこのイベントが役立ったことを感じることができました。トーク後にはゲスト講師に関連した本や、起業の本を司書から紹介しました。

タイトル 『大台町のイマヒト!』

開催日時 2023年9月30日(土) 14:00~15:00

ゲスト講師 特定非営利活動法人カナエタ 代表 長尾知美さん

参加人数 11名(事前申込8名、キャンセル1名、当日参加4名)

対象 中学生以上

内容 講話、司書と参加者も交えた座談会コーナー、司書のブックトークなど



講話の様子



座談会コーナーの様子

● やってみよう！臨床美術

芸術療法のひとつである臨床美術の体験を行いました。

臨床美術とは、作品を楽しみながら作ることによって脳を活性化させ、認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法（アートセラピー）のひとつです。今回は、オイルパステルを使ってりんごの絵を描きました。

参加者は普段から絵を描くことが好きという二人でしたが、りんごの味やにおいなど、絵を描く際に五感を意識させて描くことや、初めて手にするオイルパステルの使い方に最初は戸惑っていましたが、それでも描いていくうちにコツを掴み、とても良い作品が仕上がりました。

開催日時	2023年10月22日（日） 14：00～15：30
講師	田西隆好さん
募集人数	6人（先着順・定員に達し次第受付終了）
対象	小学5年生～中学3年生
参加人数	2人



当日の様子

●映画鑑賞会

コロナ禍で様々な行事が中止・延期となった中、映画であれば参加人数を制限して静かに鑑賞できるのではないかという考えのもと、2020年度から始めました。制限も緩和された現在は、小さいお子様の映画観賞デビューや、映画を通して町民同士のコミュニケーションをとる場になればと考え開催しています。

毎年三重県視聴覚ライブラリーの作品リストから選んでいますが、そのほとんどが VHS であり、DVD でも内容や上映時間の条件に合うものが限られてしまいます。視聴覚資料は図書館として収集すべき資料ですので、今後購入していく必要があります。

今年度の子どもの部は 1 組のみの参加でした。映像が参加者の年齢層に合わず、「怖い」と泣いてしまったものの、紹介した図書は複数冊貸出となりました。

大人の部については早々に申込みがあったものの、映像作品が偶然 TV で放送されたため、キャンセルとなり、参加者 0 名となってしまいました。それでも当日参加があってもいいように映画は上映しました。

開催日時 2023 年 12 月 17 日 (日)

こどもの部 10:45~12:15 (幼児・児童対象)

大人の部 14:00~16:15 (一般対象)

参加方法 事前参加申込制 定員各 15 名程度

各部の DVD は三重県視聴覚ライブラリーより借受

対象	作品名	紹介した本	参加人数
子どもの部 【幼児・児童】	『ふしぎの国のアリス』	<ul style="list-style-type: none"> ・『資格ミステリーえほん』 ・『まさかさかさま その3』 ・『ふしぎの国のアリス』 ・『おおきくおおきくおおきくなると』 	1 組 3 名 (1 組 2 名欠席)
大人の部 【一般】	『ローマの休日』	<ul style="list-style-type: none"> ・『地球の歩き方 A09 イタリア』 ・『リアルな英語の 9 割はアカデミー賞映画で学べる!』 ・『ファン的心をときめかせた世界の映画ベストセレクション』 ・『嵐が丘』 他 3 冊 	0 名 (2 名キャンセル)



子どもの部 図書紹介の様子



大人の部 図書紹介作品

●借りる！図書館福袋

袋に入れ、あえて本がわからない状態で貸出することで、利用者が普段選ばない本と出会う機会にしています。

福袋の準備数は、会場の収容スペースの観点から例年20セットとしています。小学生対象の袋が残る傾向にあることから、今回は、小学校・高学年の4セットを半分の2セットにし、今年度から新しくシニア向けの福袋を2セットに用意しました。初日で2セットとも貸出がありました。翌日以降に来館された方々からは「楽しみにしていたのに借りられず残念」という声が多く寄せられました。来館者は高齢の方が多いので、次回は来館者の年齢層を反映させる形で準備数を決めるのが妥当であると反省しました。シニア向けは4セット必要かもしれません。

会場の設営は、例年館内大掃除の後に行います。今回は、大掃除が年内最終開館日の翌日だったため、年内に周知する時間を取ることができませんでした。ポスターやたよりだけでは、お知らせの効果が十分ではないことも良く分かりました。館内のどこかに、前回の一例を展示する場があってもよいと思います。

福袋を開催する館は年々増加しています。各館の様子を Web サイトで見ると、おみくじやガチャをする館もありました。当館の福袋は今回で7回目の開催でした。何かしら工夫を重ねて、干支が一回りするまでは続けていきたいと思います。

期 間 2024年1月4日（木）～1月15日（月）10日間で終了

福袋準備数 幼児5セット、小学校低学年4セット、小学校高学年2セット
YA（ヤングアダルト）2セット、一般5セット シニア2セット
計20セット

福袋仕様 中身が見えないように本を包装
借りたい人は、福袋に貼られている対象年齢とテーマを元にして選ぶ



福袋を設置した様子



選んでいる様子

●リサイクルフェア

図書館での保管期間の過ぎた本・雑誌を無料でプレゼントする企画です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する制限が撤廃されたため、整理券の配布や人数制限は行いませんでした。

初日には、たくさんの方が来館し、コロナ禍以前よりもにぎわっていました。

アンケートにより来場者数および持ち帰り冊数を記録していますが、全員が記入しているわけではないので、以下の数字は概数となっています。

開催期間 2024年2月17日(土)～3月4日(月)

持ち帰り冊数 一人10冊まで(2/26以降冊数無制限)

リサイクルフェアの対象となる本

- ・廃棄対象となる本で2024年3月までに廃棄申請を提出した本・雑誌
- ・寄贈として送付されてきたが受入対象とならなかった本
- ・2022年度リサイクルフェアの残りの本・雑誌

【集計結果】

開催日数	来場者数	持ち帰り冊数
13日	288人(概数)	1,254冊(概数)



リサイクルフェア初日の会場の様子

【非来館者事業】

直接来館をしなくても、図書館の本を利用できるよう事業を継続して行っています。
受け取り場所（ステーション）は、荻原公民館、健康ふれあい会館、日進公民館、移動図書館川添、移動図書館日進の5か所あり、Web予約でも場所を指定することができます。

◆移動図書館の試験運行開始

6月～3月の間、地域を限定し移動図書館を実施しました。詳細は次項の「移動図書館事業」をご覧ください。

◆お出かけブックン

図書館まで来館することなく、公民館窓口でも図書館の本が受け取れるように、定期的に司書が巡回しています。個人利用者から依頼のあった予約本の配送、返却本の回収、予約用紙の受け取りとともに、各施設に貸し出す団体貸出の本も配送しています。

巡回日 毎週水曜日午後

※実績数は、「非来館者の貸出方法の内訳」をご参照ください。

◆施設向け団体貸出

要望のあった町内の施設に司書が選んだ本を定期的に貸出しています。
配送を希望する施設には、お出かけブックンで配送しています。

●町内保育園・小中学校向け団体貸出

保育園 選書 保育園セット 13セット（1セット 50冊）事前準備

入替 月1回

その他の要望対応 毎月20冊まで可 要望に応じて司書が選書

小学校 選書 各校毎月20冊（6～7クラス分）を選書

入替 年10回

その他の要望対応 「伝言板」としてリクエストを記入してもらう用紙あり
授業等やブックトーク等で必要な分は別で必要数を準備

中学校 選書 要望のあった学校・クラスに10～20冊を選書

入替 年10回

その他の要望対応 授業等やブックトーク等で必要数を準備

団体貸出に入れてほしい本のリクエストにも対応

●町内福祉施設向け団体貸出

施設利用者に施設内で読書を楽しんでもらうために行っています。本の種類や内容については利用者の状況に応じて柔軟に対応しています。

2021年から継続しており、返却の際には、施設の職員を通じて読みたい本のリクエストを承るようになりました。今年度は、施設利用者から昔話の紙芝居を読みたいとの要望がありましたので、リストを作成しお渡ししたところ、選書の中に紙芝居も毎月加えることになりました。

11月には、新たな施設から団体貸出の申し出がありました。施設の職員が「デイケア利用者向けに雑誌やパズルは用意してあるが、空き時間を有意義に過ごしていただくために本も置きたい」と考えていたことや、施設利用者からの「図書館に行きたくても行けない」という声もあり、団体貸出の利用に至ったそうです。利用者の読書に対する関心は高く、担当の職員からは、施設内で図書の管理や利用のマナーなどが定着したら、冊数を増やしていきたいとのことでした。

利用施設数 3団体

利用冊数 計899冊

選書 内容や冊数について施設担当者と打ち合わせ後
10冊～40冊程度を準備

入替 月1回

●報徳診療所向け団体貸出

受付前の待合スペースに書架を用意していただいています。貸出する本は、来院された方が気軽に読めるような昔話や、実用書、また昔を懐かしんでもらえるような本が中心です。本は、受付前の待合スペースで読むことができます。

利用冊数 計240冊

選書 内容や冊数について施設担当者と打ち合わせ後
毎月20冊を準備



設置して頂いた書架の様子

◆出張おはなし会

依頼があった施設に、図書館職員が出向いておはなし会を実施しています。

今年度は、大台町社会福祉協議会を通じて依頼をもらい、地区の自主グループへ訪問し、高齢者向け紙芝居の読み聞かせや簡単な手遊びを行いました。

当日は、自主グループの参加者4名と大台町社会福祉協議会の職員1名の合計5名の参加がありました。「普段はもっと参加者がいるんだけど…」とのことだったのですが、開催したのが寒い時期だったからか、少なかったようです。

所要時間は30分程度だったので、高齢者向け紙芝居を1冊と手遊びを1つ行いました。高齢者向け紙芝居は、昔映画の上映があった物語のため若い頃を思い出し、映画の主題歌を口ずさんでいる方もいました。手遊びは少し難しかったようで、苦戦している方もいましたが、楽しんでもらえた様子でした。



出張おはなし会の様子

申込み団体 2団体

実施団体 1団体（参加者4名）

◆ブックンぶんこ

学校図書室内で大台町立図書館所蔵の本を閲覧・貸出できるようにしました。

学校図書室の利用促進とともに、図書館を普段利用しない児童にも図書館の本を活用してもらう機会にしました。

2020年度に図書館に割り当てられたパワーアップ事業の図書予算から、このブックンぶんこのために選書して購入をしました。2023年度で3年目としてセットを入れ替えて継続して行っています。

運用期間 2023年5月～2024年2月

貸出セット数 1セット50冊×小学校4校

【貸出実績】

小学校名	貸出冊数	貸出の多かったシリーズ名・書名
日進	16冊	大長編ドラえもんシリーズ
川添	13冊	特になし
三瀬谷	48冊	青鬼調査クラブシリーズ
宮川	29冊	おさるのジョージシリーズ



三瀬谷小学校図書室のブックンぶんこの様子

【移動図書館】

●移動図書館の本格運行開始

町立図書館は大台町のほぼ中心に設置されているものの、町の地域性ゆえに子どもや高齢者といった交通弱者が来館しにくい現状があります。

昨年度の試験運行をふまえ、町民から「図書館が身近になった」「子どもと本を読む時間が増えた」といった声があったほか、移動図書館継続の要望があったこと、また、町立図書館への利用促進も確認できたことから、日進・川添地区への移動図書館を本年度から継続的に事業として本格運行しました。場所は安全面等を考慮し、日進地区は大台町民体育館の敷地内、川添地区は川添小学校校庭内をお借りしています。雨天時は川添地区のみ川添小学校体育館の入口で行っています。蔵書数は一般書、児童書含め約 350 冊を準備し、新規登録の場合は町立図書館で手続きをしなくても現地で申請書を記入、事前に仮登録した図書利用者カードを渡すだけで完了できるようにしました。

日進地区では、園児とその保護者の利用のほか、学童保育に来ている子どもたちがその場で読書をするなど、貸出の数字には表れないものの、常に子どもたちの賑やかな声が聞こえる環境があります。中には、「気になってはいたものの、なかなか来られずにいた」という高齢の方の利用や、「移動図書館を通して小説を読むようになった」と毎回予約やリクエストをしてくれる方もいます。

川添地区では、園児とその保護者、小学校の先生の利用が中心でしたが、今年度から毎度高齢の方の利用も増加しました。雨天時は雨天時開催場所の変更を知らせる看板を設置した上で小学校の体育館入口を借りて行うようにしました。ただ、園児や保護者の利用はありませんでした。

移動図書館は図書館という静寂なイメージから離れ、終始賑やかに本を選べるのが良い点です。子どもの本だけでなく、一般書の利用も増え、保育園内からは、「移動図書館だ」と子どもの声が聞こえることもあります。それだけ定着してきたことが窺えます。

ただ、猛暑となる7月～8月は、屋外での活動が職員及び利用者にとっても危険な時期であるため、来年度からはこの時期を除いて運行していきたいと思えます。

運行期間 2023年6月7日(水)～2024年3月13日(水)

対象地区 日進地区／川添地区

対象者 日進地区／川添地区の保育園児と送迎保護者及び近隣住民

実施場所 日進地区…大台町民体育館の敷地内／川添地区…川添小学校校庭内正門付近

運行日程 毎月各地区2回

返却方法 次の運営日(約2週間)、および図書館、公民館でも返却可能



日進地区の様子



川添地区の様子

●移動図書館運行状況【実施期間 6月～3月】

	開館 日数	来場者数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	新規 登録者数	リクエスト・予 約・相互貸借 申込枚数	レファ レンス	1時間当たり の貸出人数	1人当たり の貸出冊数
6月	4	49	18	107	24	2	0	6	4.5	5.9
7月	4	52	16	57	45	2	0	10	4.0	3.6
8月	4	33	13	49	44	3	1	2	3.3	3.8
9月	4	46	19	80	47	1	0	7	4.8	4.2
10月	4	64	28	126	87	1	3	7	7.0	4.5
11月	4	48	18	83	78	0	0	3	4.5	4.6
12月	3	25	10	41	31	0	0	3	3.3	4.1
1月	3	52	20	103	76	1	3	6	6.7	5.2
2月	4	47	17	101	92	1	2	3	4.3	5.9
3月	2	37	12	54	45	3	5	0	6.0	4.5
合計	36	453	171	801	569	14	14	47		

(開館時間 15:30～16:30 1時間)

移動図書館1時間当たりの貸出平均人数・冊数	4.75人	22.3冊
-----------------------	-------	-------



●地区別利用状況

【日進地区】（日進保育園横空地）

◆利用者区分別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計	天候
6月	1回目	6	0	0	0	3	9	曇
	2回目	4	0	0	0	4	8	雨・曇
7月	3回目	3	7	0	0	6	16	晴・雨
	4回目	11	3	0	0	8	22	晴・雨
8月	5回目	4	3	0	0	3	10	雨
	6回目	6	3	0	0	5	14	雨
9月	7回目	8	1	0	0	5	14	晴
	8回目	7	7	0	0	8	22	晴
10月	9回目	7	2	0	0	4	13	晴
	10回目	11	2	0	0	9	22	晴
11月	11回目	6	3	0	0	7	16	晴
	12回目	5	4	0	0	6	15	晴
12月	13回目	4	5	0	0	3	12	晴
1月	14回目	6	0	0	0	6	12	曇
	15回目	7	4	0	0	8	19	曇
2月	16回目	6	4	0	0	6	16	晴
	17回目	7	0	0	0	8	15	晴
3月	18回目	10	5	0	0	10	25	晴
合計		118	53	0	0	109	280	

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの 貸出冊数
6月	1回目	3	17	0	5.67
	2回目	3	17	6	5.67
7月	3回目	4	17	13	4.25
	4回目	6	23	16	3.83
8月	5回目	3	17	12	5.67
	6回目	3	21	10	7.00
9月	7回目	5	32	16	6.40
	8回目	8	33	26	4.13
10月	9回目	4	24	26	6.00
	10回目	8	44	31	5.50
11月	11回目	5	24	35	4.80
	12回目	4	23	10	5.75
12月	13回目	3	19	17	6.33
1月	14回目	5	30	27	6.00
	15回目	8	45	33	5.63
2月	16回目	6	31	36	5.17
	17回目	6	45	38	7.50
3月	18回目	7	31	44	4.43
合計		91	493	396	5.42

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
6月	1回目	0	0%
	2回目	0	0%
7月	3回目	2	50%
	4回目	1	17%
8月	5回目	0	0%
	6回目	0	0%
9月	7回目	1	20%
	8回目	0	0%
10月	9回目	0	0%
	10回目	0	0%
11月	11回目	0	0%
	12回目	0	0%
12月	13回目	0	0%
1月	14回目	0	0%
	15回目	1	13%
2月	16回目	0	0%
	17回目	0	0%
3月	18回目	2	29%
合計		7	8%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち
新規利用者の割合

【川添地区】（川添小学校校庭）

◆利用者区分別来場者数

月	回数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計	天候
6月	1回目	8	2	0	0	8	18	晴
	2回目	4	5	0	0	5	14	曇
7月	3回目	2	0	0	0	4	6	雨
	4回目	2	2	0	0	4	8	晴
8月	5回目	2	0	0	0	6	8	晴
	6回目	0	0	0	0	1	1	雨
9月	7回目	0	0	0	0	4	4	大雨
	8回目	1	0	0	0	5	6	曇
10月	9回目	2	0	0	0	8	10	雨
	10回目	6	2	0	0	11	19	晴
11月	11回目	2	0	0	0	3	5	晴
	12回目	4	1	0	0	7	12	晴
12月	13回目	2	1	0	0	3	6	曇
	14回目	1	2	0	0	4	7	曇
1月	15回目	8	6	0	0	7	21	晴
2月	16回目	6	3	0	0	7	16	小雨
	17回目	0	0	0	0	0	0	雨
3月	18回目	5	1	0	0	6	12	曇
合計		55	25	0	0	93	118	

◆貸出・返却状況

月	回数	貸出人数	貸出冊数	返却冊数	1人当たりの貸出冊数
6月	1回目	7	53	8	7.57
	2回目	5	20	10	4.00
7月	3回目	3	8	7	2.67
	4回目	3	9	9	3.00
8月	5回目	6	9	11	1.50
	6回目	1	2	11	2.00
9月	7回目	1	2	3	2.00
	8回目	5	13	2	2.60
10月	9回目	7	29	11	4.14
	10回目	9	29	19	3.22
11月	11回目	2	10	12	5.00
	12回目	7	26	21	3.71
12月	13回目	3	11	12	3.67
	14回目	4	11	2	2.75
1月	15回目	7	28	16	4.00
2月	16回目	5	25	18	5.00
	17回目	0	0	0	0.00
3月	18回目	5	23	1	4.60
合計		80	308	173	3.85

◆新規登録者数（再発行は含まず）

月	回数	新規登録者数	貸出新規者割合
6月	1回目	2	29%
	2回目	0	0%
7月	3回目	0	0%
	4回目	0	0%
8月	5回目	0	0%
	6回目	0	0%
9月	7回目	0	0%
	8回目	0	0%
10月	9回目	0	0%
	10回目	1	11%
11月	11回目	0	0%
	12回目	0	0%
12月	13回目	0	0%
	14回目	0	0%
1月	15回目	0	0%
2月	16回目	1	20%
	17回目	0	0%
3月	18回目	1	20%
合計		5	6%

※貸出新規者割合…全体の利用者のうち

新規利用者の割合

【他機関連携事業】

◆ブックスタート

ブックスタートは、0歳児検診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、全国で行われています。

大台町では町民福祉課が主催し、4～5ヶ月児が対象で、絵本をきっかけに親子で楽しい時間を過ごせるよう図書館司書から個別にアドバイスを行います。

絵本をきっかけにした親子の時間について話をする際に、まず家庭での様子を伺い、兄弟姉妹との関係や主に保育をされる方の生活パターンに合わせて、絵本のある暮らしについて提案しています。

ブックスタート事業が始まった頃よりも、育休中のお母さんが増えてきたように感じます。また、お母さんと赤ちゃんだけでなく、お父さんやおじいちゃんおばあちゃんが同席していただくこともありました。

すでに、絵本の読み聞かせを始められている保護者もいらっしゃいました。ある方からは、「読んでいるときの子どもの反応で成長を感じる」と感想を聞かせて頂きました。親子のかけがえのない時間を垣間見られたような、心温まるエピソードで、幸せをおすそ分けしてもらった気分です。

主 催	町民福祉課
内 容	絵本をきっかけにして、親子で楽しい時間を過ごしてもらう 絵本を2冊プレゼント
対 象	4～5ヶ月児
依頼方法	ブックスタートの講師派遣依頼を受けて司書が出張する
場 所	子育て支援センター（大台町健康ふれあい会館内）
開催日時	「のびのび相談」開催時 一組10分程度
参加組数	28組（4～3月）

【広報活動】

◆図書館だより

毎月図書館だよりを発行しています。開館予定、行事のお知らせ、イベントの様子などの図書館に関する情報と毎月のテーマコーナー本や新着本などの本紹介を行っています。図書館以外に、お出かけブックンの際、各公民館図書室や各施設に配布しています。



発行 毎月1日
通算 118号 (2023年3月)
発行部数 約250部

◆図書館だより YA版

※YA（ヤングアダルト）とは、10代の若者を指します。

読書離れが進んでいると言われている10代の図書館利用を促進し、読書推進につなげるために図書館だよりを2018年より発行しています。図書館の利用案内や活用法をはじめ、10代におすすめの本の紹介などを掲載しています。また、YA世代を対象としたリクエスト募集行事「リク★マツ」の募集やその結果発表、YA世代対象行事のお知らせなどにも活用しています。町立図書館で配布のほか、町内小中学校、昴学園高等学校図書室でも配布しています。



発行 年4回
発行部数 約1040部
春号 約260部 夏号 約260部
秋号 約260部 冬号 約260部

◆ホームページ（【Web サービス】参照）

◆X（旧 Twitter）（【Web サービス】参照）

◆広報おודい

「広報おודい」に図書館のコーナーがあります。図書館が情報発信する媒体として各戸配布される唯一の存在です。行事のお知らせだけでなく、図書館を利用したことがない町民の方にも図書館とはどんなところか知ってもらおう場として活用しています。

◆行政チャンネル おーちゃん「図書館だより」

司会者とともに月替わりで司書が出演し、図書館のおすすめ本や行事、図書館の利用案内をしています。

◆行政チャンネル 文字放送

行政チャンネルの文字放送で休館や行事のお知らせをしています。

◆ポスター・チラシ

行事や新しい事業のお知らせは、ポスターとチラシを基本としています。図書館だよりの配布時や各施設等にも掲示してもらっています。



◆回覧板

チラシやポスターの周知効果をより高めるために回覧板を活用し、インターネットなどで情報収集しない方や普段図書館を利用されない方への情報発信としています。

◆役場ロビーにブックトラック

町民の来庁が多い役場本庁 1 階ロビーに図書館宣伝コーナーを設置しています。広く図書館の存在をアピールし、来館者の増加を目的としています。

各種お知らせの他に図書館の本も置いています。ここの本も利用者が図書館で手続きをすれば借りることができます。

配布物 図書館利用案内、おはなし会のチラシ、
図書館だより、行事のチラシ

種類 一般書 10 冊 児童書 10 冊

入替日 毎月第 3 水曜日



キッズスペースの横にあります

【施設支援事業】

お出かけブックンの配送に留まらず、町内施設にある図書室の読書環境向上のために、支援を行っています。

◆町内小・中学校の図書室支援

司書が各学校図書室の支援を行っています。

週1回程度であるため支援には限界がありますが、各校にあった支援を続けています。図書委員会が行っている活動の支援や、司書独自で企画して本紹介や図書室クイズなども実施しています。それぞれの学校で取り組む内容は違いますが、どの学校も話しやすい人間関係、来やすい図書室づくりを意識して支援にあたっています。授業での読み聞かせやブックトークの団体を相手にする依頼も多いですが、個々の読書意欲、安心して過ごせる場所づくりが一番大切なことだと思っています。

訪問日数 小学校週1日半 中学校週1日

支援内容 カウンター業務（貸出・返却、レファレンス）

資料整備（選書、受入、廃棄、本の修理、館内清掃、書架整理）

読書推進（本紹介、テーマコーナー、図書だより作成、読書推進企画
ブックンぶんこ設置）

授業サポート（図書館資料提供、ブックトーク・読み聞かせ）

その他 教室への支援として団体貸出を実施

図書室年間報告等作成



川添小学校 「えほんガチャ！」実施の様子

【その他】

◆職業体験・インターンシップの受入

教育機関から職業体験やインターンシップの受け入れをしています。

今年度は、9月に宮川中学校から2名3日間、大紀中学校から1名2日間、12月に昴学園高等学校から3名3日間の日程で受入をしました。

宮川中学校の職業体験は、初日に大雨が降る中でのお出かけブックと移動図書館の準備を体験しました。館外業務が多い当館ならではの様子を知ってもらう良い機会となりました。

大紀中学校の職業体験は、例年2日間です。体験できる内容が、他校に比べて少なくなりますが、レファレンスの体験が印象深かったと感想を寄せて頂きました。

昴学園高等学校のインターンシップは、今年度も小学校のご理解・ご協力を得ることができたので、学校図書館業務を体験することができました。また、「ぷらっと」では、作品作りに取り組む参加者の補助業務に積極的に取り組みました。

【宮川中学校】



雑誌の受け入れ作業の様子



本の修理の様子

【大紀中学校】



図書の配架の様子

【昴学園高等学校】



学校図書館業務の様子



移動図書館準備の様子



図書館行事「ぷらっと」補助の様子

◆図書館設備・図書館システム

設備の不具合を減らしスムーズな図書館運営を行うための設備の定期的な更新や交換、利用者の要望に応えるための備品の要望をしています。

・学習室手元照明 全席設置完了

室内の電気配線工事によりコンセントが増設されました。

個別学習室の13席すべてでデスクライトが使えるようになりました。

・キックステップの買い替え（1台）

破損していた利用者用の踏み台を買い替えました。

・書見台付カートの寄贈（1台）

かつて図書館をよくご利用いただいた故人のご家族様より、

館内で利用できる「書見台付カート」を1台ご寄贈いただきました。

・多目的トイレのチャイルドチェア設置（1台）

トイレ内の乳幼児用の椅子を設置しました。



書見台付きカート（寄贈）



トイレ用チャイルドチェア



キックステップ

◆感染症対策

新型コロナウイルスは5類に移行しましたが、引き続き感染症対策として次のとおり継続しています。

- ・来館人数確認のための入館札入れは職員で行う

3. 状況報告

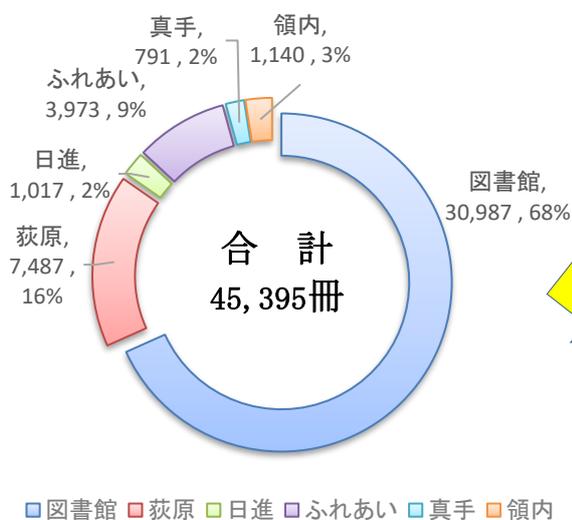
【資料所蔵状況】 (令和6年3月31日現在)

●所蔵館別の蔵書冊数

※各公民館にあるデータ未登録資料は含まず

	図書館	荻原	日進	ふれあい	真手	領内	合計
図書一般	17,764	4,684	617	2,791	408	184	26,448
図書児童	12,395	2,803	359	1,141	383	956	18,037
雑誌	828	0	41	41	0	0	910
合計(冊)	30,987	7,487	1,017	3,973	791	1,140	45,395

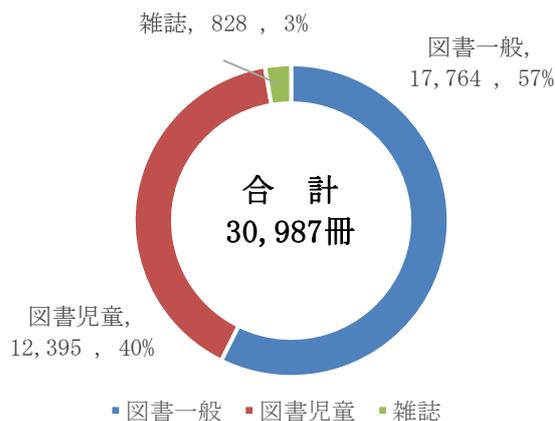
所蔵館別蔵書冊数(冊)



《所蔵館略称名》

- 図書館 < 大台町立図書館
- 荻原 < 荻原公民館
- 日進 < 日進公民館
- ふれあい < 健康ふれあい会館
- 真手 < 真手地域総合センター
- 領内 < 領内出張所

大台町立図書館の資料区分構成



●資料の増減

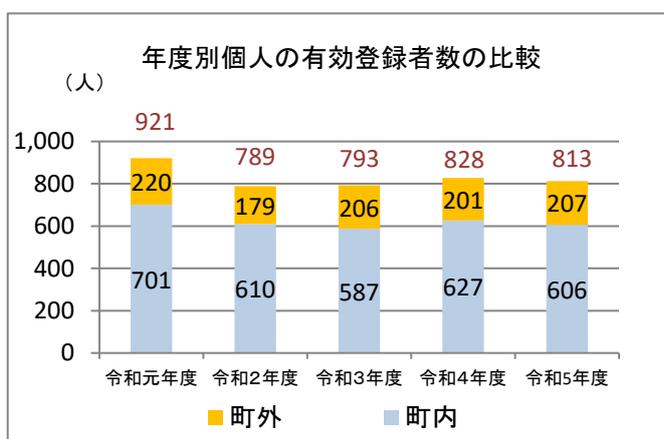
※未登録資料は含まず

図書・雑誌	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
購入図書資料(冊)	1,560	2,741	2,027	1,190	1,743
購入雑誌資料(冊)	321	337	331	341	334
寄付・寄贈(冊)	70	28	13	47	54
除籍等(冊)	-671	-1,399	-1,719	-1,528	-1,627
所蔵・分類変更分(冊)	-1	1	23	8	-11
年度末蔵書数(冊)	42,461	44,169	44,844	44,902	45,395

【利用者状況】 (令和6年3月31日現在)

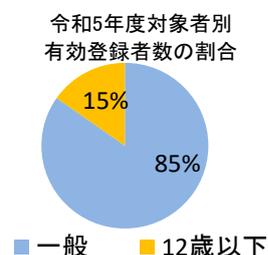
※有効登録者数は年度内に実際に登録または貸出利用した個人・団体のこと（登録のみを含む）

年 度			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来館者総数(人)			10,518	9,797	11,122	10,671	10,405
登録者総数(件)			4,925	5,062	5,168	5,245	5,488
新規登録者数(人)			162	145	111	104	156
有効登録者数(件)			1,035	905	918	956	945
有効登録件数 内訳	個人	町内	701	610	587	627	606
		町外	220	179	206	201	207
		計(人)	921	789	793	828	813
	団体	町内施設・団体	74	76	87	87	88
		町外施設・団体				2	3
		相互貸借館	40	40	38	39	41
	計(件)	114	116	125	128	132	
実利用者数(件) (内は団体数)			1,005(109)	877(113)	892(121)	937(122)	926(130)
貸出利用件数合計(件)			9,340	8,570	9,194	9,536	9,032
貸出利用件数 内訳	個人	のべ人数	7,695	7,052	7,575	8,101	7,498
	団体	のべ数	1,327	1,213	1,371	1,217	1,264
	相互貸借	のべ館数	318	305	248	218	270
2Fマルチフロア利用者合計(人)			1,209	1,405	2,021	2,132	2,151
2F マルチフロア 内訳	個別学習コーナー		548	470	911	792	759
	多目的ルーム		219	286	571	468	595
	ランチタイム		59	34	94	203	202
	行事参加者総数		345	597	419	665	595
	校外学習		38	18	26	4	0

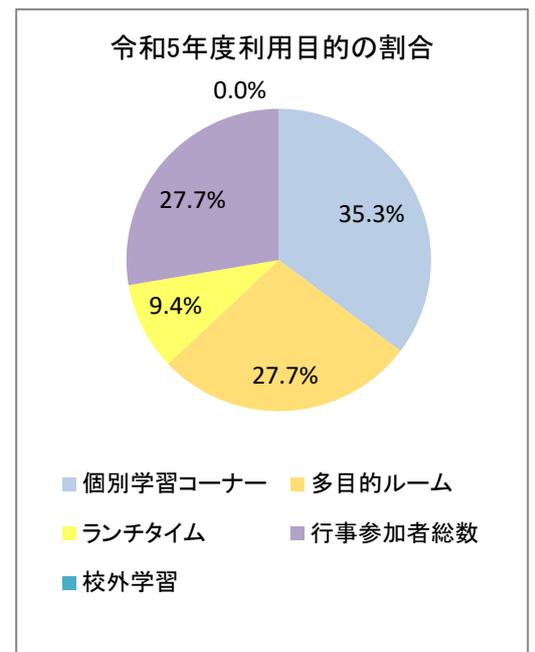
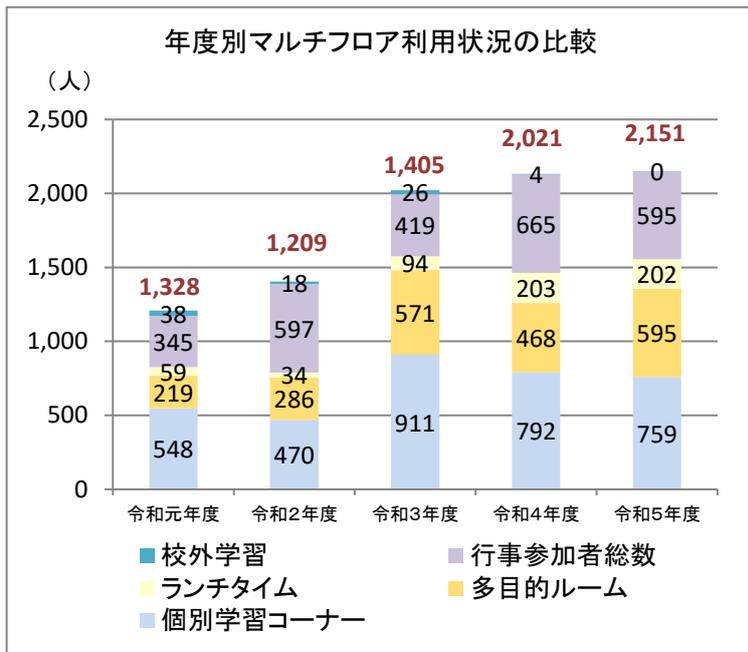


●個人利用対象者別有効登録者数

対象別有効登録者割合	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般	735	646	678	697	689
12歳以下	19	143	115	131	124
合計(人)	754	789	793	828	813



●マルチフロア利用状況



●各種サービス利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相互貸借	借受冊数	512	611	543	572	566
	貸出冊数	374	374	279	252	348
複写(件)		35	33	37	32	38
レファレンス(件)		53	99	32	18	31

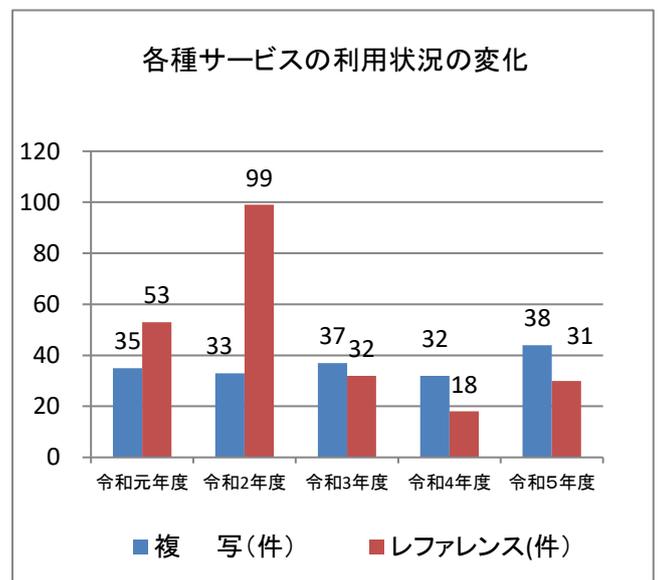
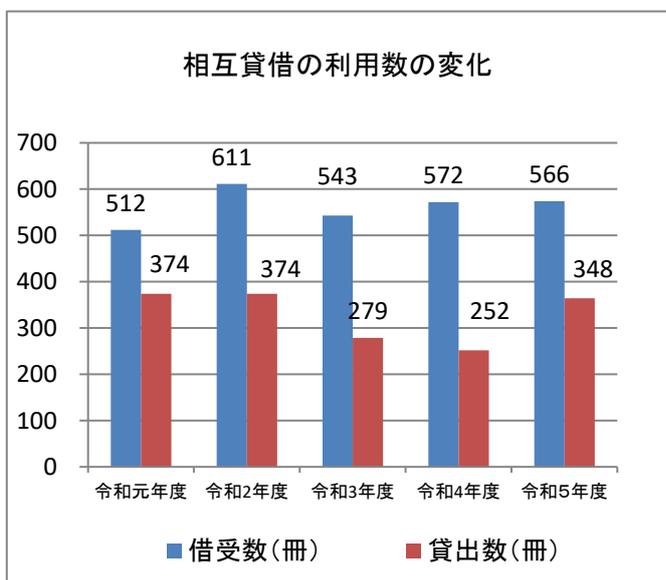
相互貸借とは、他の図書館と資料の貸し借りをを行うこと

相互貸借[借受冊数]は、他館より借りた資料数

相互貸借[貸出冊数]は、他館に貸出した資料数

複写は、図書館資料のコピー依頼件数

レファレンスは、司書への質問・相談件数（情報探索に時間が必要なもののみカウント）

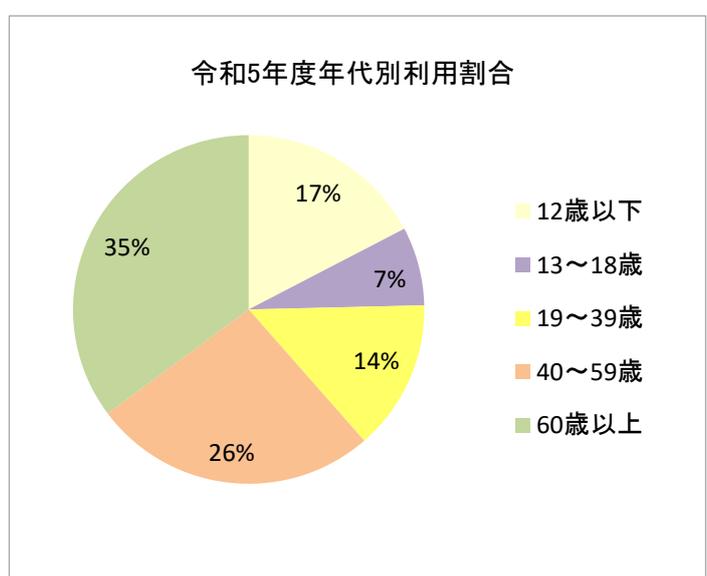
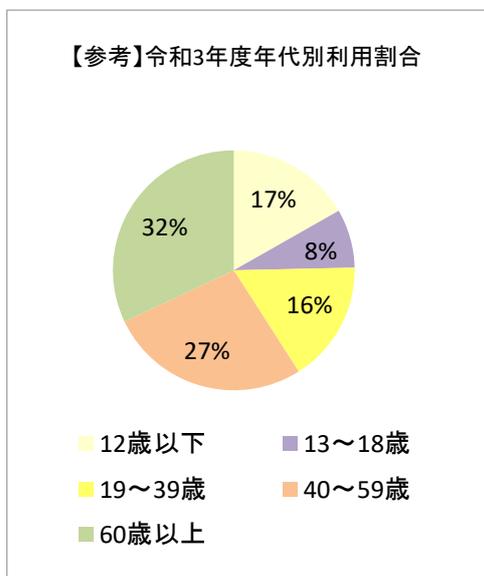
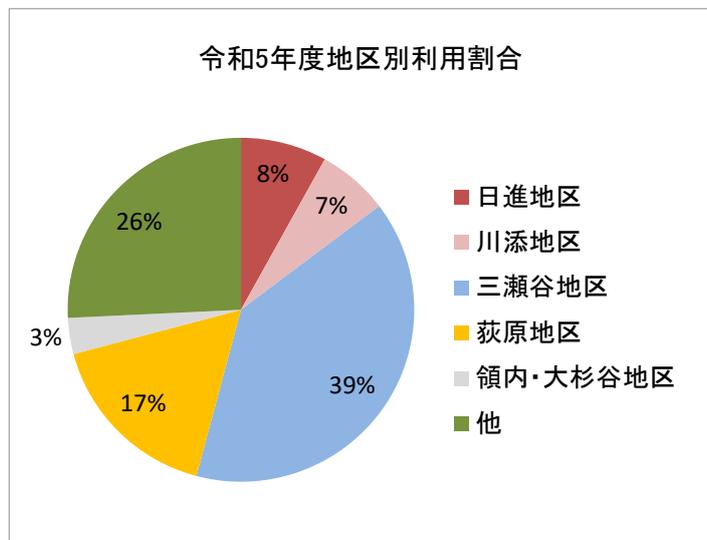
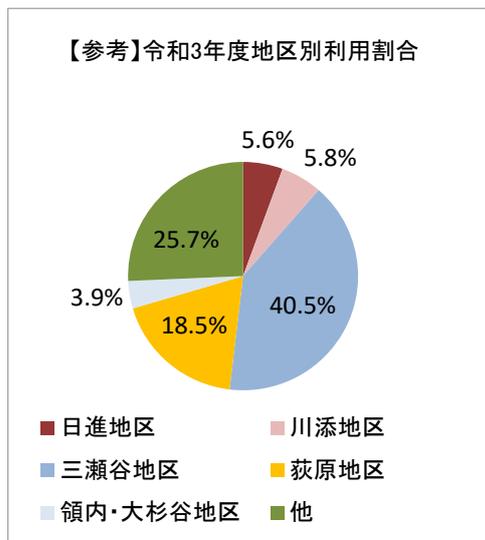


【年齢別地区別個人の実利用者数】

年度内に貸出をした個人の地区別人数（団体含めず）

	12歳以下	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	地区合計	地区別利用
日進地区	12	5	17	18	12	64	8%
川添地区	14	6	6	15	12	53	7%
三瀬谷地区	66	21	46	68	113	314	39%
荻原地区	24	15	15	30	49	133	17%
領内・大杉谷地区	2	2	4	7	12	27	3%
他	20	9	23	71	82	205	26%
合計(人)	138	58	111	209	280	796	100%
年代別利用	17%	7%	14%	26%	35%	100%	

移動図書館開始前（令和3年度）との比較



【貸出状況】 (令和5年3月31日現在)

●貸出人数

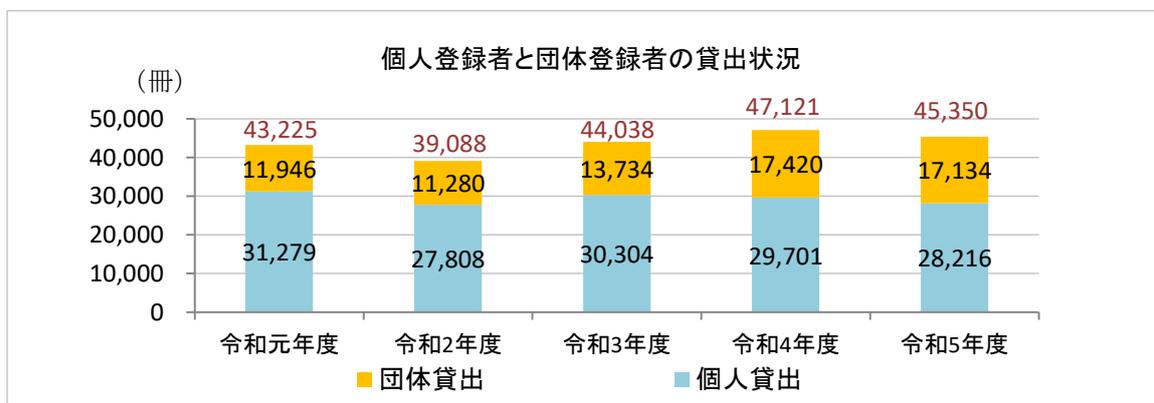
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個人貸出	896	764	771	815	796
団体貸出	109	113	121	122	130
貸出合計(人)	1,005	877	892	937	926



●貸出冊数

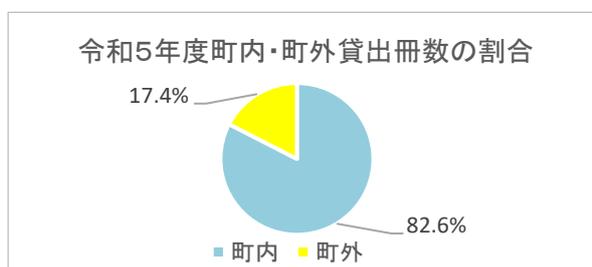
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個人貸出	31,279	27,808	30,304	29,701	28,216
団体貸出	11,946	11,280	13,734	17,420	17,134
貸出合計(冊)	43,225	39,088	44,038	47,121	45,350

※ここでの団体貸出とは、団体登録者と相互貸借館への貸出を指す
令和3年度までは貸出処理がされていない分の保育園セットの数を含まず



●令和5年度の貸出冊数の内訳

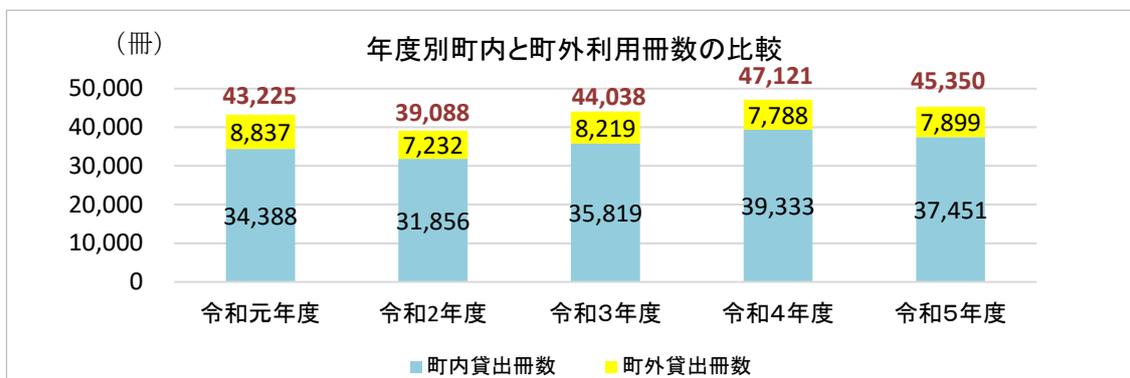
	個人	団体	合計
町内	20,752	16,699	37,451
町外	7,464	435	7,899
合計(冊)	28,216	17,134	45,350
	個人	団体	全体
町内	45.8%	36.8%	82.6%
町外	16.5%	1.0%	17.4%



●町内利用と町外利用

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
町内貸出冊数	34,388	31,856	35,819	39,333	37,451
町外貸出冊数	8,837	7,232	8,219	7,788	7,899
貸出合計(冊)	43,225	39,088	44,038	47,121	45,350

※町外とは、大紀町在住者、町内在学・在勤者（他市町村在住）を指す
 それぞれ団体登録者も含む
 このデータは、令和3年度までは、保育園セットは貸出処理されないためカウント含めず



●令和5年度の年齢別地区別の個人の貸出冊数

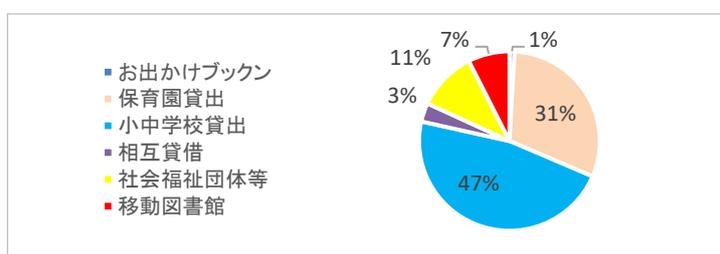
	12歳以下	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	地区合計
日進地区	294	13	312	258	329	1,206
川添地区	434	44	93	653	725	1,949
三瀬谷地区	2,971	399	1,946	2,104	5,086	12,506
荻原地区	677	240	887	1,667	1,206	4,677
領内・大杉谷地区	11	14	93	176	120	414
他	543	111	343	2,337	4,130	7,464
合計(冊)	4,930	821	3,674	7,195	11,596	28,216
児童・一般	4,930	23,286				28,216

●非来館者の図書利用方法別の貸出冊数内訳

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
お出かけブックン	85	72	127	136	97
保育園貸出	3,000	3,480	3,480	3,319	3,293
小中学校貸出	5,200	5,700	5,700	6,227	5,070
相互貸借	372	374	276	252	364
どくしょ便		49	97		
社会福祉団体等			440	1,120	1,151
移動図書館				962	801
貸出冊数合計(冊)	8,657	9,675	10,120	12,016	10,776

※お出かけブックンは、図書館所蔵資料を各公民館・福祉施設に個人対象に配送した冊数を指す

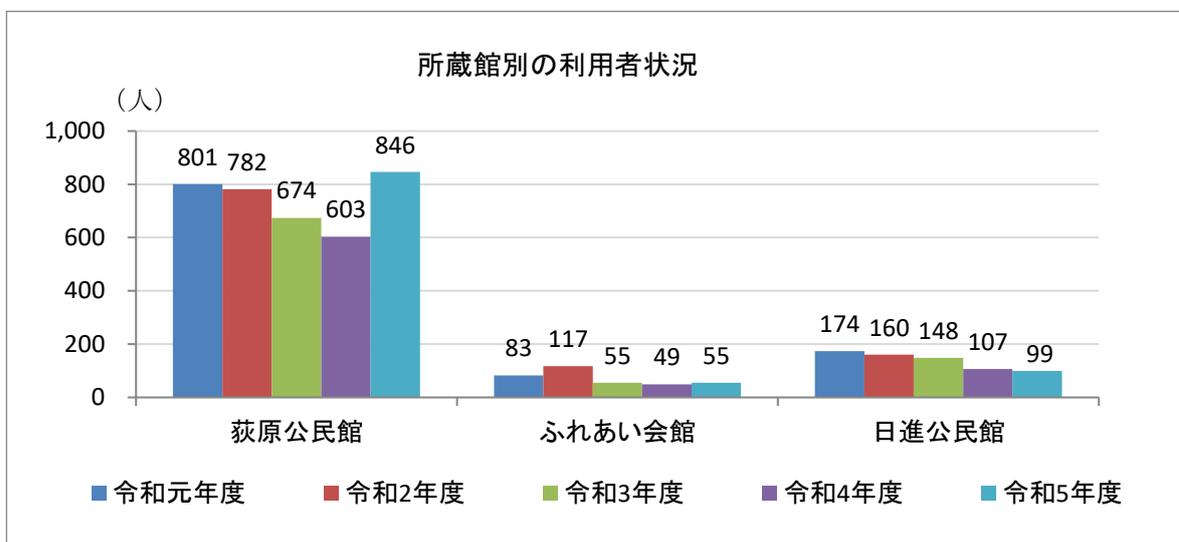
●令和5年度非来館者の貸出利用方法別の割合



【公民館図書室利用状況】（令和5年3月31日現在）

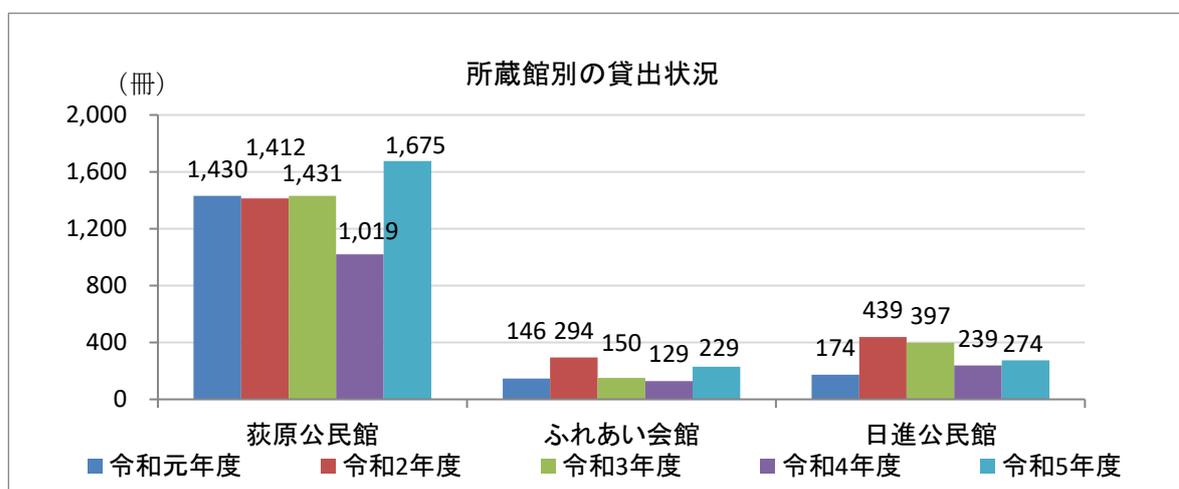
●公民館図書室貸出利用者数 ※公民館利用者の数には、お出かけブックンでの利用は含まれない

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
荻原公民館	801	782	674	603	846
ふれあい会館	83	117	55	49	55
日進公民館	174	160	148	107	99
利用者合計(人)	1,058	1,059	877	759	1,000



●公民館図書室貸出冊数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
荻原公民館	1,430	1,412	1,431	1,019	1,675
ふれあい会館	146	294	150	129	229
日進公民館	174	439	397	239	274
貸出合計(冊)	1,750	2,145	1,978	1,387	2,178



4. 経費・サービス指数

【令和5年度 資料費】

(円)	
図書費	3,000,000
雑誌・新聞費	350,898
合計(資料費)	3,350,898

【サービス指数】

『日本の図書館 統計と名簿2023』より
平均値を算出

[指標数値]

人口8千～1万人未満
の39町村の平均

町内有効登録率 (在勤・在学・町外をのぞく)	8.32%	町内有効登録数(694件) 人口(8340人) ×100	
町民1人当たりの貸出冊数	4.49冊	町内貸出冊数(37,451冊) 人口(8340人)	4.71冊
個人の実利用者1件当たりの年間貸出冊数	35.45冊	個人の貸出冊数(28,216冊) 個人の実利用者数(796件)	
町民1人当たりの蔵書冊数	5.44冊	蔵書冊数(45,395冊) 人口(8340人)	9.09冊
町民1人当たりの年間図書購入冊数	0.21冊	年間図書購入冊数(1,743冊) 人口(8340人)	0.20冊
町民1人当たりの資料購入費	401.79円	資料費(3,350,898円) 人口(8340人)	557.16円
司書1人当たりの奉仕人口	1,668人	人口(8340人) 司書数(5人)	
蔵書回転率	1.00回	貸出冊数(45,350冊) 蔵書冊数(45,395冊)	0.52回

【基本数値】

人口8千～1万人未満
(合計34.9万人)の
39町村の平均

人口	8,340人	令和6年3月31日現在	8,949人
有効登録件数(施設団体含む)	945件	内、町内有効登録件数(694件)	
司書人数	5人		
貸出冊数	45,350冊	内、町内貸出冊数(37,451冊)	
個人の貸出冊数	28,216冊	内、町内貸出冊数(20,752冊)	42,179冊
個人の実利用者数	796人	1年間で貸出利用した人数	
蔵書冊数	45,395冊		81,333冊
図書購入冊数	1,743冊	(雑誌334冊は含まず)	1,841冊
資料費	3,350,898円	図書費+雑誌・新聞	4,986,000円
購入図書平均単価	1,721円	図書費÷購入図書冊数(1,743冊)	2,708円

5. 課題と対策

【前年度に挙げた課題と対策】

令和4年度図書館年報には、現状の課題と課題解決を行うための対策について記載しました。令和5年度はその対策を踏まえて活動をしました。

●令和4年度に挙げた課題と対策、令和5年度の実施状況

《行事》

課題>開催行事の内容に対して、対象者の多くにどのように興味関心を持ってもらうかが課題

対策>幅広い年代が図書館行事に参加できる機会を設ける

他機関でのチラシ配布を強化する

利用者の声を反映し、行事内容の決定に生かす

他図書館の行事に関心を持ち、魅力ある行事内容の発掘に努める

大きな行事の企画は前年度9月ごろ提案し予算を計上してもらう

結果>参加者状況は参加者の多い行事とほとんど参加者がいなかった行事と二極化していた。今後もイベントの良さを知ってもらう方法に課題が残った。

ただし、翌年度（令和6年度）に実施したいイベントのための予算提案はしっかりとできたため、イベント費や移動図書館のための公用車ラッピング費用を予算計上してもらうことができた。

《資料》

課題>場所がないために廃棄せざるを得ない資料の増加

学習内容に即した資料の買い替えの必要性あり

対策>書庫増設の要望を挙げる

TRCのブックフェアで選んだ本を確実に購入できるように、予算を分けて考える

実施>文化施設整備の計画が始動した。

購入図書については、年間予算を選書会議単位で割り、より計画的に行うこととした。また、ブックフェアに参加しての児童書の資料選定、大活字本は別枠で考えた。絵本が特に棚にも公民館にも置けず、蔵書調整が必要だったため、次年（6年度）のイベントに廃棄図書を活用する計画を立てた。イベント内で廃棄図書を配布できるように、年度内に抜き出しを積極的に行った。

《利用状況》

課題>貸し出し利用が、大台町民の1割未満

対策>家族で来館したくなる行事の企画、学校や保育園の図書館見学を促進

実施>読書手帳の無料配布を継続（一般・児童関わらず）した。残念ながら、学校の図書館見学は1件もなかった。

《非来館者の利用促進》

課題＞図書館利用の地域格差、交通弱者に対する対策が少ない

対策＞移動図書館の運行、町内の福祉施設への団体貸出実施

実施＞移動図書館の運行、町内の医療・福祉施設への団体貸出継続、出張おはなし会を開催し、地域に出向いて読み聞かせを行った。

●令和5年度の分析

《行事》

令和4年度の20周年記念事業のような大きな行事はなかったものの、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、行事参加人数の制限もなくなったことから、関心の高いリサイクルフェアなどの行事にはたくさんの方が参加していたように思います。その一方で、定期行事のおはなし会などの参加は、年度当初は参加者が少ない状況が続いていました。びよびよおはなし会は、ハロウィンパーティーの開催により、後半はある程度回復することができましたが、ばぶばぶおはなし会は開催曜日が平日ということもあって、最後まで参加が少ないままだったため、開催曜日の変更を再度検討することとなりました。

映画観賞会は、参加者が振るわず、施設面の不備をカバーするためにも、作品選びをより慎重に行うべきだったかもしれません。

《資料》

書庫スペースが確保できていないので、前年度と状況は変わりません。所蔵資料が4万冊を超えており、図書館と公民館図書室のスペースに余裕がありません。廃棄を毎年行うものの、資料的価値が損なわれておらず廃棄対象年数を迎えても必要と判断された資料については可能な限り廃棄をしないため、蔵書は年々増加傾向にあります。一部の絵本資料などについては、保育園セットとして、書架に並べず閉架に一時保管しながら活用できるようにしていますが、そのように保管できる資料やスペースは限られており、図書館に隣接する書庫の必要性が高まっています。

さらに、令和6年度は領内出張所の移転に伴う、領内図書室置き資料の廃棄及び引き上げ作業を行う必要があります。すべてを廃棄することはできないため、残す資料の選定時間の捻出や残した後の置き場所の確保が大きな課題です。

《利用状況》

貸出や来館者も昨年度よりやや減少しています。依然として、町民の図書館貸出利用の割合が1割にも満たない状況は改善されていません。

《非来館者への利用促進》

移動図書館は過ごしやすい時期になると利用が増えました。利用状況は天候に左右されることはありますが、移動図書館の存在は定着しつつあり、一定数の利用がありました。

福祉施設への団体貸出は、図書館までは行けなくても町民の動線上に図書館の本があることで、その場での利用につながっていました。

【令和6年度に向けての課題】

《行事》

子どもの図書館利用が減少しています。子どもの利用を増やすためには、家族で図書館へ気軽に行くことができる行事が必要です。また、参加の多い行事と参加者がほぼいない行事などはっきりしてきています。行事の内容や開催日など十分検討をする必要があります。

《資料》

利用者の高齢化が進んでいます。大活字本のように、より読みやすい資料を積極的に蔵書に加える必要があります。

小中学校の図書室支援を行っていることから、授業で利用する資料の準備依頼も頻繁にあります。学校図書館だけでは資料は不十分なため、資料を活用した授業が的確に行えるように、図書館でも教科書の改訂に合わせて学習内容に対応した新しい資料を随時購入する必要があります。保管期間に関わらず、資料のより丁寧な見直しと選書が必要です。

より幅広い図書館の使い方ができるように、今年度からAV資料の視聴ブースを設けることにしました。今後はAV資料を少しずつ増やしたいと考えています。

《利用状況》

団体貸出の需要および冊数は高まっていますが、個人貸出での需要を高める必要があります。大台町民全体を見れば、個人の資料利用者は1割も満たしていません。この問題は、決して令和6年度のみ課題ではありません。今後さらに人口減少や情報形態の多様化の影響を受けることは必然です。図書館が住民の資料要求に応える環境を維持するためにも、図書館の認知を高めていく必要があります。

《非来館者利用の促進》

大台町の地形は細長く、図書館1か所での資料提供では資料利用の地域格差は解消できません。移動図書館を継続し、その存在を定着していく必要があります。また、施設等での利用も施設職員との綿密な連携を高め維持していく必要があります。

《通信制高等学校の開校に伴う領内図書室の資料整理》

現在領内図書室には、未登録の寄贈本及び大台町立図書館の資料が1300冊程度あります。令和6年度中に、これらの廃棄処理、または別の場所への移動を進める必要があります。

《文化施設整備基本構想について》

図書館を含めた文化施設整備基本構想策定業務委託料として605万円が予算化されました。教育委員会生涯学習課が主導し進めていく計画です。図書館側からもどんな図書館が望ましいか提案をしていきますが、そのためにも他地域のさまざまな図書館を見学し、必要な設備や運営のあり方を知る必要があります。また、地域に根差した図書館にするために、町民の意見を広く聞く機会が必要です。その場では、私たちが得た情報をわかりやすく発信できるように準備を始めていく必要があります。

【対 策】

《行事》

幅広い年代が図書館行事に参加できる機会があるようにします。

図書館行事開催の認知度を高めるために、関係する他機関でのチラシ配布を強化します。

利用者の質問内容や地域住民の関心に注目し行事内容に活かします。

他の図書館の行事に関心を持ち、魅力ある行事内容の発掘に努めます。

ばぶばぶおはなし会の開催曜日変更を行います。

《資料》

的確な資料廃棄を継続しつつ、書庫の増設を要望します。

「大活字本」の収集を強化し、中高年に対して積極的な周知を行います。

児童書の選書は、実際に資料を見て検証し、授業との関連性が高いものから選びます。

選書会議をさらに綿密に行い、分類や蔵書バランスを意識しながら選書を行います。

図書館の幅広い活用方法を追求するため、1階パソコンを視聴覚コーナーとし、タブレット1台を利用者検索用として整備を進めます。これに伴いAV資料の購入も検討します。

《利用状況》

図書館への関心を高めた上で、家族で来館したくなる企画や本紹介をします。

《非来館者への利用促進》

移動図書館を継続し、遠隔地の利用者の拡大、定着を図ります。

高齢者施設との連携を継続し、来館することなく資料を利用できる環境を維持します。

《通信制高等学校の開校に伴う領内図書室の資料整理》

図書館整理休館日をはじめ、通常開館時にも人員を確保し整理に当てます。

《文化施設整備基本構想について》

図書館側からもどんな図書館が望ましいか提案をしていくために、さまざまな図書館を見学し、必要な設備や運営のあり方を学べるよう、図書館見学を行います。また、私たちが得た情報は、わかりやすく発信できるように準備をします。

図書館職員（令和6年5月現在）

館長（生涯学習課課長）	田牧慎也
館長補佐兼司書チーフ	井澤友紀
司書リーダー	扇田綾子
司書	岩田真奈
司書	稲葉梨紗
司書	瀬古実西